



平成31年3月期第1四半期 決算短信補足説明資料

株式会社 F F R I (東証マザーズ : 3692)

<https://www.ffri.jp>



会社概要

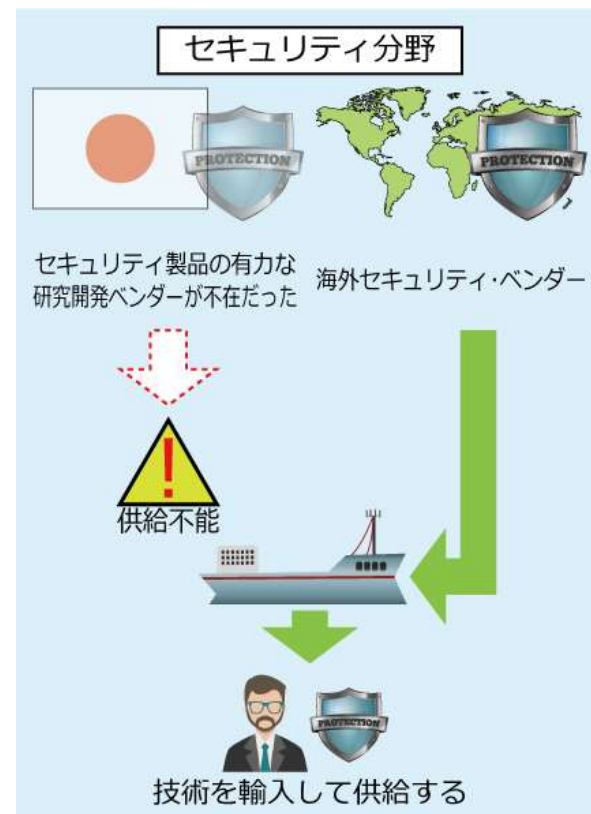
- 会社名： 株式会社 F F R I (FFRI, Inc.)
- 所在地： 東京都渋谷区恵比寿1-18-18 東急不動産恵比寿ビル4階
- 役員： 代表取締役社長 鵜飼 裕司
専務取締役最高技術責任者 金居 良治
常務取締役最高財務責任者 田中 重樹
取締役 川原 一郎
取締役 梅橋 一充
取締役（常勤監査等委員） 原澤 一彦
社外取締役（監査等委員） 松本 勉
社外取締役（監査等委員） 山口 功作
- 設立： 2007年7月3日
- 資本金： 285,698,500（2018年6月30日現在）
- 事業内容： 1. コンピュータセキュリティ研究、コンサルティング
2. ネットワークシステムの研究、コンサルティング、情報提供、教育
3. コンピュータソフトウェア及びコンピュータプログラムの企画、開発、販売、リース、保守、管理、運営及びこれらに関する著作権、出版権、特許権、実用新案権、商標権、意匠権等の財産権取得、譲渡、貸与及び管理
4. 上記事業に関連する一切の業務

2014年9月30日 東証マザーズ上場

設立の経緯



- これまで日本は対策技術を海外からの輸入に頼っていた





社名とコーポレートマークに込めた思い

- 「FFRI」は、「**F**ourteen**f**orty **R**esearch **I**nstitute」の略称
- 「1440」は、スノーボード・ハーフパイプ競技におけるジャンプの回転数に由来
- 設立当時、4回転ジャンプできる競技者が存在せず、前人未到の領域への挑戦を志し、「1440 (360°×4回転)」を社名に採用

Fourteenforty Research Institute



FFRI

コーポレートマークにも「1440」の文字とスノーボードの回転をイメージした矢印で、設立当初から変わらない「**未踏の分野への挑戦**」を表現



コーポレートマーク

世界トップレベルのセキュリティ・リサーチ・チームを作り、
コンピュータ社会の健全な運営に寄与する



業績説明

業績サマリー

- 主力製品のFFRI yaraiの売上は前年同期比11.2%増
- 法人向け製品及び個人向け製品売上が計画に対して上振れして着地
- 四半期純利益は税効果会計の影響により前年同期比で減少

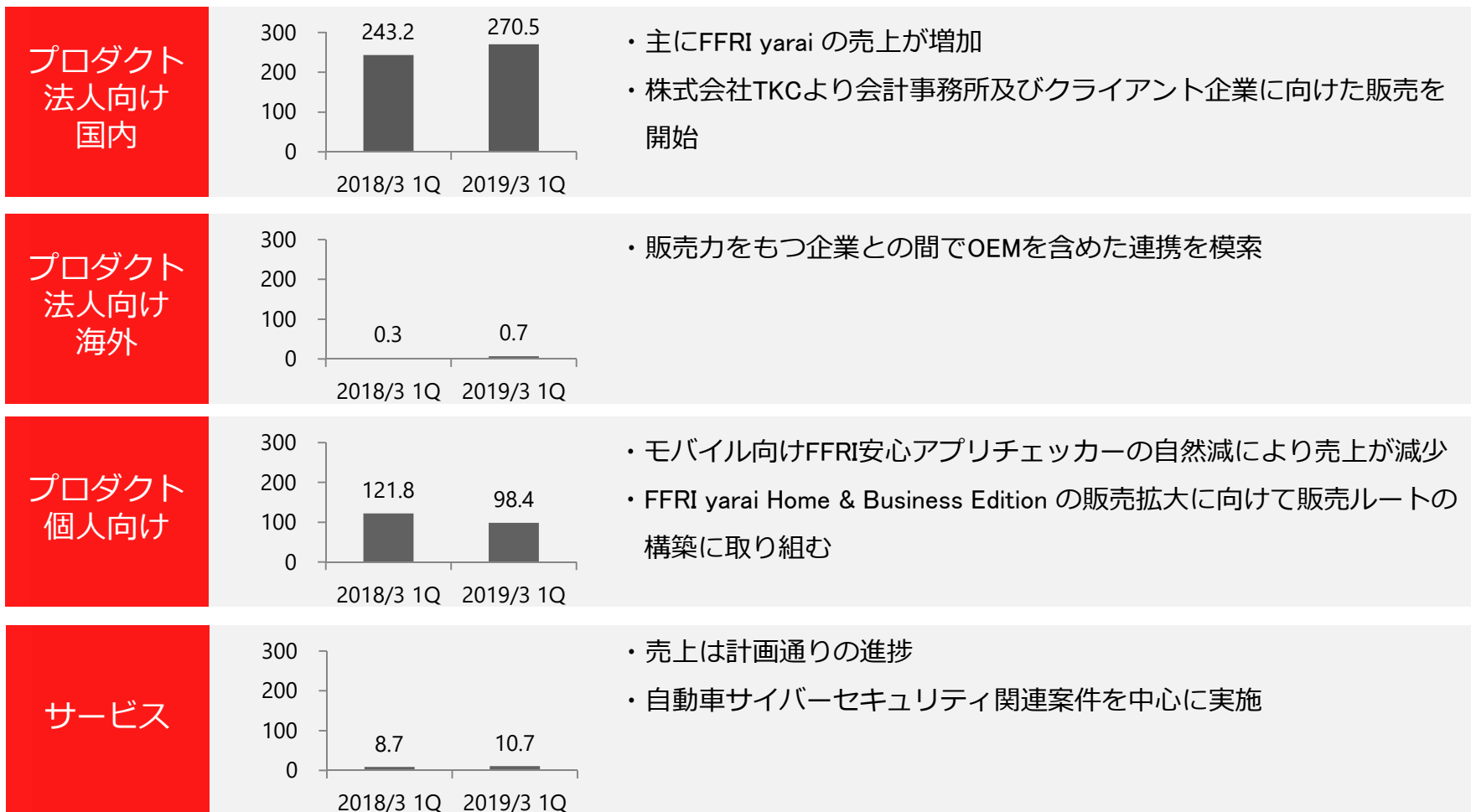
(単位：百万円)

区分	2018/3 1Q	2019/3 1Q	増減比 (%)
売上高	374	380	1.7
営業利益 (利益率：%)	35 (9.4)	37 (9.8)	6.0
経常利益 (利益率：%)	35 (9.4)	38 (10.2)	9.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (利益率：%)	30 (8.1)	24 (6.5)	△17.8



売上種類別の概況

■ 売上高 (単位: 百万円)



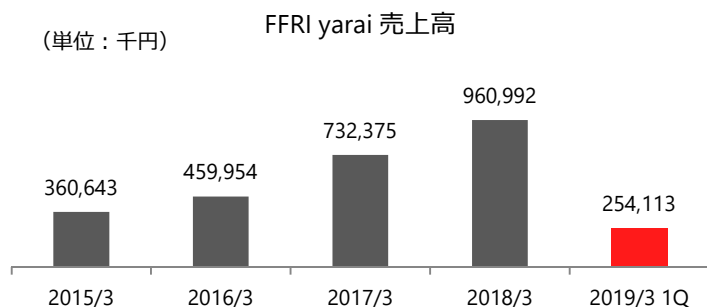
区分別四半期会計期間毎の売上推移

(単位：百万円)

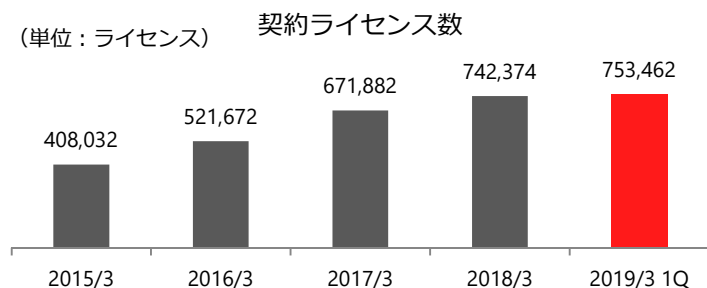
売上区分			2018/3				2019/3			
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
セキュリティ・ プロダクト	法人向け	国内	243.2	255.7	274.8	263.2	270.5	-	-	-
		海外	0.3	0.6	0.6	0.7	0.7	-	-	-
	個人向け	121.8	116.3	107.9	106.9	98.4	-	-	-	
セキュリティ・ サービス			8.7	33.2	35.9	103.1	10.7	-	-	-
合計			374.1	405.9	419.4	474.1	380.4	-	-	-



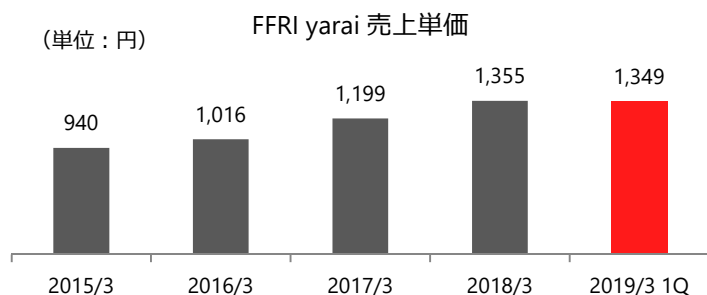
FFRI yarai シリーズの販売状況



FFRI yarai 売上高
FFRI yarai の売上は前年同期比で増加。



契約ライセンス数
前期末に比べ11,088ライセンスの増加。
FFRI yaraiの積極的な販売を行なう戦略パートナーとの連携を推進。



FFRI yarai 売上単価
当第1四半期において大規模導入先による追加導入の影響により売上単価は微減。

FFRI yarai シリーズの業種別契約ライセンス数

業種	2018/3 (ライセンス)		2019/3 1Q (ライセンス)	
		割合 (%)		割合 (%)
中央省庁	169,803	22.9	169,921	22.6
その他官公庁	134,314	18.1	139,292	18.5
金融サービス	155,957	21.0	157,079	20.8
運輸	97,914	13.2	102,663	13.6
産業インフラ・サービス	49,853	6.7	50,645	6.7
情報通信	47,260	6.4	47,171	6.3
公共	23,424	3.2	23,118	3.1
その他	63,849	8.6	63,573	8.4
合計	742,374	100.0	753,462	100.0

原価及び販管費の内訳

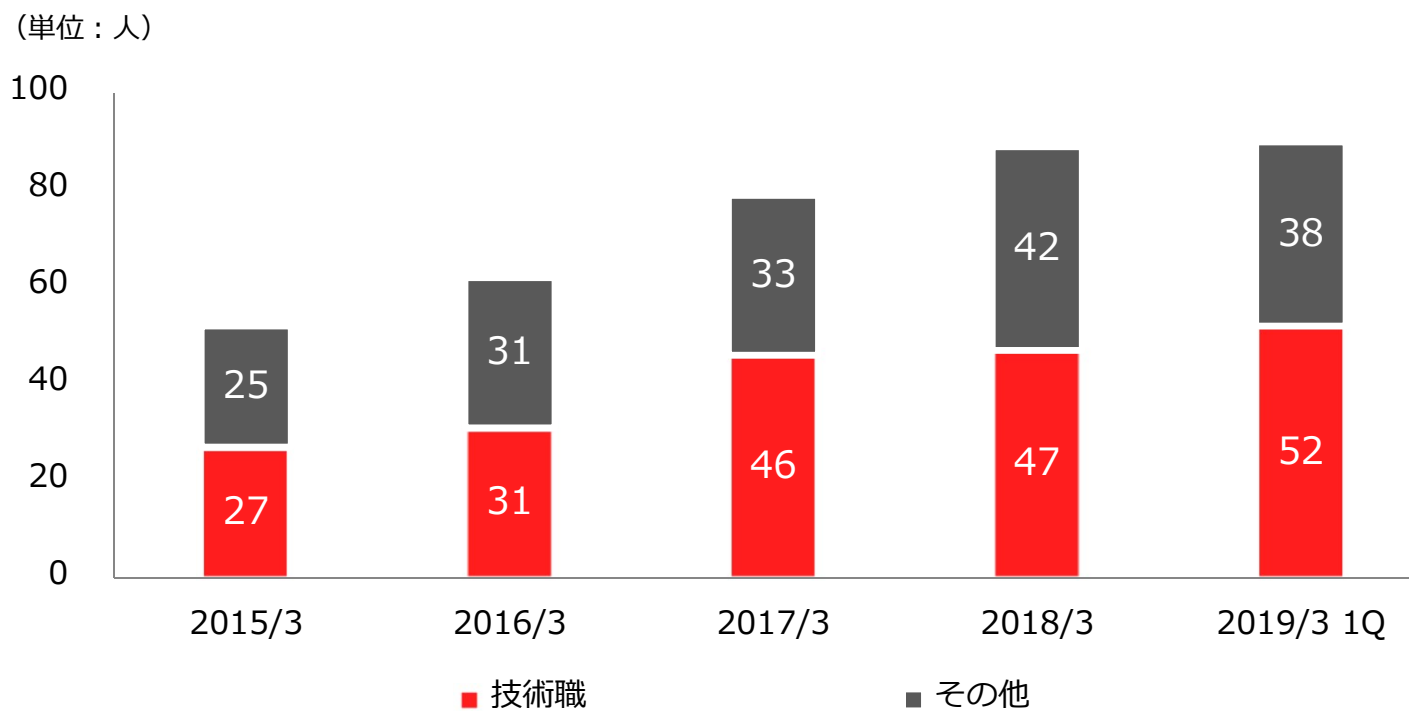
(単位：百万円)

費用の種類	2018/3 1Q	2019/3 1Q	増減比 (%)
労務費	67	73	9.0
経費	23	24	7.9
期首・期末棚卸及び 他勘定振替	△45	△37	-
研究開発費への振替	△23	△27	-
ソフトウェアへの振替	△13	△5	-
その他の振替	△9	△4	-
売上原価合計	44	60	34.9
人件費	104	113	7.8
研究開発費	23	27	16.5
販売手数料	94	75	△19.7
その他	70	65	△7.2
販管費合計	293	282	△3.9

- 販売手数料：FFRI安心アプリチェッカーの販売減少に伴い、販売代理店に対する販売手数料が減少。



人員数の推移



業績サマリー（貸借対照表）

（単位：百万円）

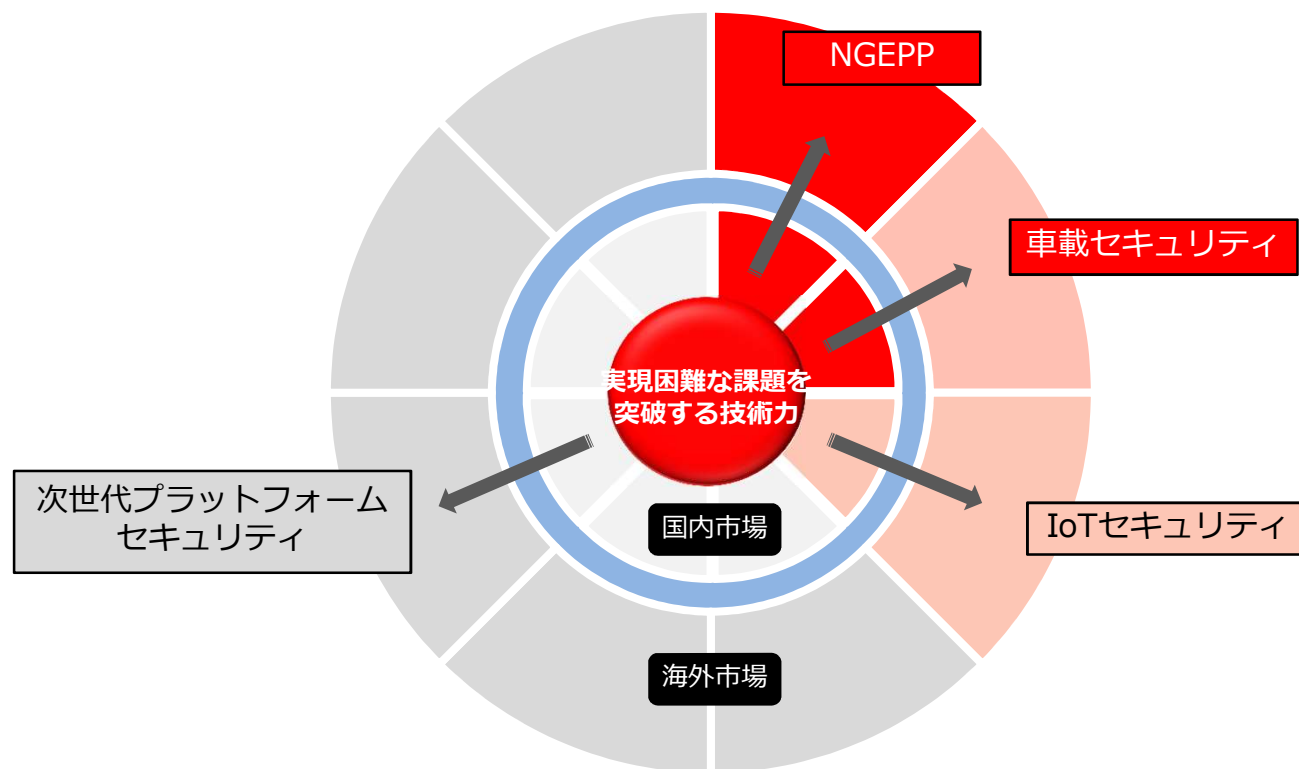
区分	2018/3	2019/3 1Q	増減比 (%)
流動資産	2,150	2,194	2.1
現金及び預金	1,983	2,112	6.5
売掛金	139	45	△67.4
固定資産	131	130	△1.3
資産合計	2,282	2,324	1.9
流動負債	718	763	6.3
前受収益	575	646	12.4
固定負債	451	424	△6.1
長期前受収益	442	414	△6.2
負債合計	1,170	1,187	1.5
株主資本	1,112	1,136	2.2
利益剰余金	565	590	4.4
純資産合計	1,112	1,136	2.2
負債純資産合計	2,282	2,324	1.9



2019年3月期の取組み

FFRIが目指す姿

- 実現困難な課題を突破する技術力をコアに日本発の研究開発型サイバーセキュリティ企業として組織が抱える問題を解決する総合的なセキュリティサービスをワンストップで提供する。

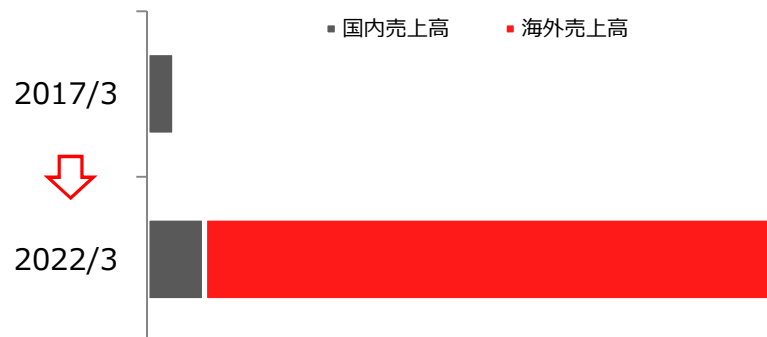


中期展望

北米に続いて
欧州・アジアへ展開を目指す



5年を目処に海外売上高を
国内売上高の10倍の規模に
育てる

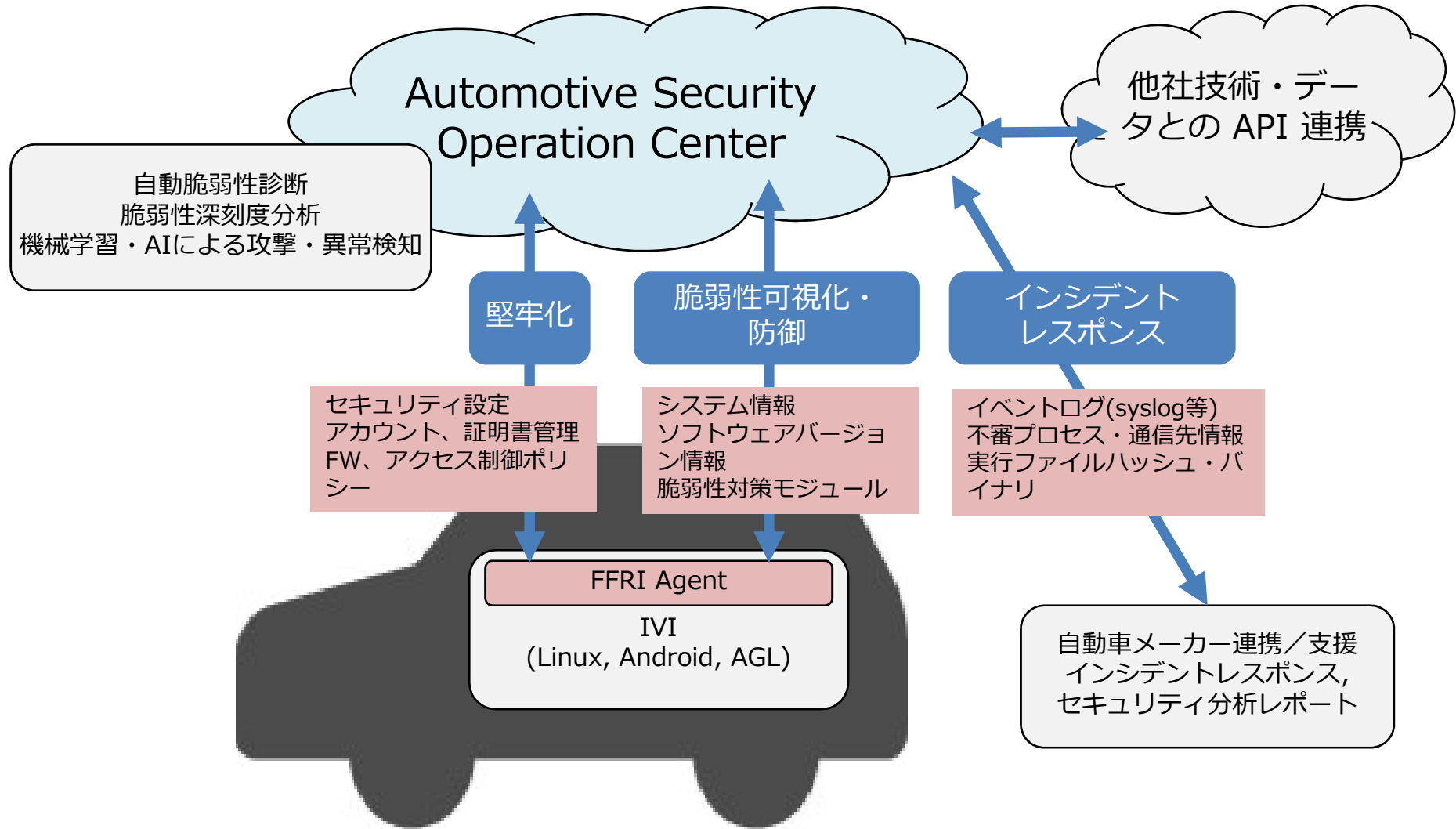




2019年3月期の取り組み

セキュリティ・ プロダクト	法人向け	国内	<ul style="list-style-type: none"> ・ FFRI yaraiの機能強化を継続実施 ・ FFRI yaraiへのEDR機能追加を始めとした、ユーザーニーズへの対応とユーザビリティの向上に取り組む ・ 戦略的販売パートナーとの連携強化
		海外	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社のリソースによる販売から、他社販売リソースの利用を含め、販売量の増加を重視した施策に取り組む ・ アジア及び欧州市場への進出取組みを継続
	個人向け	<ul style="list-style-type: none"> ・ B to B to C の販売チャネルを強化 	
セキュリティ・サービス			<ul style="list-style-type: none"> ・ 車載セキュリティ向け研究開発の実施継続 ・ その他のIoTセキュリティ分野の開拓

FFRI の自動車 MSS のイメージ



業績予想

(単位：百万円)

区分	2018/3実績	2019/3計画	増減比 (%)
売上高	1,673	1,828	9.3
営業利益 (利益率：%)	309 (18.5)	316 (17.3)	2.1
経常利益 (利益率：%)	309 (18.5)	316 (17.3)	2.1
当期純利益 (利益率：%)	222 (13.3)	204 (11.2)	△8.2

業績予想 (売上の内訳)

(単位：百万円)

区分		2018/3 実績	2019/3 計画	増減比 (%)	
セキュリティ・ プロダクト	法人向け	国内	1,037	1,279	23.3
		海外	2	19	707.4
	個人向け	453	350	△22.7	
セキュリティ・サービス		181	180	△0.6	
合計		1,673	1,828	9.3	

<本資料の取り扱いについて>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や弊社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。

従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。